

## 将来の夢を紹介しよう

英語ノート 2 (小学校 6 年) Lesson 9

※関連教材 Hi, friends! 2 Lesson 8

指  
導  
内  
容

◆卒業前に、お世話になった英語教育支援員に将来の夢を英語で伝える。

◆使用する言語材料：I want to be \_\_\_\_.

評  
価

評価する主な観点	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションへの関心・意欲・態度
	<input checked="" type="checkbox"/> 外国語表現への慣れ親しみ（伝える）
	<input type="checkbox"/> 外国語表現への慣れ親しみ（わかる）
	<input type="checkbox"/> 言語や文化に関する気付き

ア  
ク  
テ  
ィ  
ビ  
ィ  
テ  
ィ

◆将来の夢についてスピーチをする

○中学校でがんばりたい教科と、「将来の夢」についてスピーチする。

○理由は英語でなくても日本語や絵で表現してもよい。

わ  
く  
わ  
く  
シ  
ー  
ト

◆場面設定：将来の夢を紹介する場面

○卒業式が近づき、外国語活動でお世話になった英語教育支援員さんに将来の夢をたずねられ、自分が将来になりたい職業を英語で伝える。



# ■ 将来の夢を紹介しよう (英語ノート2 Lesson 9)

## 1. 単元の目標

1. 自分の将来の夢を、積極的に、理由をつけて紹介しようとする。
2. 職業を表す表現について、日本と外国の違いに気付く。

## 2. 単元について(教材観・指導観)

本単元は、2年間の外国語活動の最後にあたり、「将来の夢」を題材とし、将来つきたい職業をスピーチを通して、自分の思いを伝えたり、友だちの思いを聞くことをねらいとしている。

本指導例では小学校卒業前に、お世話になった英語教育支援員さんと会話をしていて、将来の夢をたずねられるという場面を設定し、中学校でがんばりたい教科と将来の夢について語るという内容である。自分の夢を語るとともに、クラスメイトの夢にも関心を持つことや、自分の考えや意図を積極的に伝え、言語活動を通じて、中学校での外国語(英語)の授業に意欲を持たせるようにする。

## 3. 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度 (コ)	外国語表現への慣れ親しみ(伝える)	外国語表現への慣れ親しみ(わかる)	言語や文化に関する気付き(気)
・自分の将来の夢を積極的に紹介しようとしている。	・将来の夢について、理由をつけて紹介しようとしている。	/	・職業を表す表現について、日本と外国の違いに気付いている。

## 4. 単元の指導計画

	ねらい	言語材料	主な学習活動	評価方法
1	・様々な職業の英語での言い方を知る。	teacher, doctor, racing driver, tennis player, cook, fire fighter, singer,	チャンツ 絵カード ビンゴゲーム	【行動観察・すらすらリスト】 ・様々な職業の英語での言い方を理解しようとする。
2	・CDで、外国の子どもたちが将来つきたい職業についての夢を言っているのを聞いてその概要を理解する。	What do you want to be? I want to be a teacher.	チャンツ 歌 カルタゲーム	【行動観察・すらすらリスト】 ・CDで、外国の子どもたちが将来つきたい職業についての夢を言っているのを聞いてその概要を理解しようとする。
3	・将来つきたい職業について、尋ねたり答えたりする。 (「自分と同じ夢の友だちを探す」など課題をもってインタビューする)	What do you want to be? I want to be a teacher. I like ____.	チャンツ キーワードゲーム インタビューゲーム	【行動観察・すらすらリスト】 ・将来つきたい職業について、相手に尋ねたり答えようとする。
4 本時	・将来つきたい職業と、その理由など「将来の夢」について聞かれたことに答える。 ・友だちの発表から分かったことを紹介する。	What do you want to be? I want to be a teacher. I want to ____ . I like ____.	・わくわくシートをもとに、英語教育支援員と会話する。	【行動観察・すらすらリスト・わくわくシート】 ・自分の将来の夢を積極的に紹介しようとしている。 ・将来の夢について、理由もつけて紹介しようとしている。

5. 本時(活用の時間)について

(1) 本時の目標

- |   |
|---|
| 1.自分の将来の夢を積極的に紹介しようとする。<br>2.将来の夢について、理由もつけて紹介しようとする。 |
|---|

(2) 本時の評価規準

- 自分の将来の夢を、大きな声で積極的に紹介しようとしている。
- 将来の夢について、その理由もつけて紹介しようとしている。

(3) 本時の指導計画

	児童の活動	教員の支援		指導の留意点
		HRT(T1)	ALT(T2)	
導入	<b>ウォームアップ (5分)</b> 1. あいさつをする。  2. 復習をする。	・英語教育支援員が話す英語を児童と一緒にリピートする。	・元氣よく英語であいさつをする。	・児童が、数人とあいさつをする機会を、飽きないように工夫して毎時間持つ。
展開	<b>アクティビティ (30分)</b> 3. 練習をする。	・デモンストレーションをみせる。		・スピーチでは、困ったときにはスピーチメモを見てもよいと伝え、児童に安心感を持たせる。 ・「将来の夢」の理由は、英語でなくても日本語や絵で表現してもよい。  ・見せる時に、書画カメラなどで拡大してみんなに見せるのもよい。
	<b>4. スピーチをする。</b> ・「わくわくシート」をもとにスピーチする。  ・他の児童は、発表者が何になりたいと思っているかを聞いておく。	・スピーチする内容について説明する。  *英語教育支援員の先生に、「中学校でがんばりたい教科」と、「将来の夢」を聞かれ、答えるように児童に告げる。	・児童のスピーチを聞き、必要に応じて質問をする。	


	児童の活動	教員の支援		指導の留意点
		HRT(T1)	ALT(T2)	
まとめ	<p>ふり返り（10分）</p> <p>5. 「わくわくシート」の（話したこと・聞いたこと）を記入する。</p> <p>6. 「すらすらリスト」の②④をチェックする。</p> <p>7. あいさつをする。</p>	<p>・今までの授業を振り返り、児童が成長した点や今後期待したい点を述べる。</p> <p>・「すらすらリスト」の日本語を読み上げる。</p>	<p>・一人ひとりの児童の夢を大切にしながら、感想や励ましの言葉をかけるようにする。</p> <p>・「すらすらリスト」の英語を読み上げる。</p> <p>・最後のまとめとして、児童が英語を使おうとする態度について良かったところやがんばったところを評価し、中学校での英語科の授業に意欲を持たせるようにする。</p>	

6. 補助教材(わくわくシート)について

わくわくシート

単元名:[ 将来の夢を紹介しよう ] 英語ノート2 Lesson 9

■ どんな英語を使って会話ができるかな? 将来の夢を紹介する場面

	<p>(場面)</p> <p>卒業式が近づきました。外国語活動の授業でお世話になった英語教育支援員さんに将来の夢をたずねられました。</p> <p>さて、自分が将来になりたい職業を英語で伝えるにはどうしたらいいのかな。</p>	<p>(話す内容)(日本語で書く)</p> <p>●: 卒業おめでとう。もうすぐ中学生ですね。</p> <p>中学校ではどの教科をがんばりたいですか?</p> <p>○: ありがとうございます。私は英語をがんばりたいです。</p> <p>●: あなたは将来何になりたいのですか?</p> <p>○: わたしは、子どもが好きなので、幼稚園の先生になりたいです。</p> <p>●: いいですね。がんばってね。</p>
---	---	---

■ 実際に英語を使った活動をしてみましょう

	<p>(話したこと)(日本語で書く)</p>	<p>(聞いたこと)(日本語で書く)</p>
--	------------------------	------------------------

